



平成 28 年 3 月 25 日 (金)

報道各位

「2016 56th ACC CM FESTIVAL」  
各部門の審査委員長決まる！  
～ 6月1日(水)よりエントリー受付開始 ～

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 (略称: ACC、東京都港区、理事長: 高田 坦史) は、今年で 56 回目を迎える ACC CM FESTIVAL (2016 年度開催の名称: 「2016 56th ACC CM FESTIVAL」) の開催に先立ち、フィルム部門、ラジオ CM 部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、インタラクティブ部門の審査委員長を別紙の通り決定致しました。

エントリー受付期間は、2016 年 6 月 1 日 (水) ～7 月 1 日 (金) まで。

今後、各部門の審査委員ならびに、応募概要の詳細につきましては、ACC ホームページ等で随時発表致します。

ACC CM FESTIVAL では、より多くの秀逸な作品を選出し、CM の質的向上と CM 業界の発展に貢献するべく努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋2-4-2 西新橋安田ユニオンビル6F  
TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263

[www.acc-cm.or.jp](http://www.acc-cm.or.jp)

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 担当: 平川

## ◆フィルム部門 審査委員長 古川 裕也 氏



電通 CDC 局長 クリエーティブ・ボード  
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

クリエイター・オブ・ザ・イヤー、ACC グランプリ、広告電通賞（テレビ、ベストキャンペーン賞）、

カンヌ・ライオンズ 40 回、D&AD、One Show、アドフェスト・グランプリ、ギャラクシー賞グランプリ、メディア芸術祭など、国内外で 400 回以上の受賞。

2005 年カンヌ・フィルム部門審査員、

2013 年カンヌ・チタニウム・アンド・インテグレート部門審査員、

2014 年カンヌ・フィルム部門審査員はじめ、D&AD、N.Y.フェスティバルなど国内外の審査員多数。

2016 年日本人で初めてクリオ・フィルム部門審査委員長をつとめる。

2013 年から、カンヌ電通セミナーのディレクションを担当。

2015 年 D&AD President Lecture、B Dash Camp 2015 等内外で講演多数。

JR 九州「祝！九州新幹線開業キャンペーン」

大塚製薬 ポカリスエット「Jump」

グリコ「Smile.Glico」

リクルート「すべての人生が、すばらしい」

BIG「堤真一・真木よう子」シリーズ「西島秀俊」シリーズ

麒麟企業 CM「香川真司」「遠藤保仁」

中央酪農会議「牛乳に相談だ」

味の素スタジアム「ハスキーな女たち」

JCB「買い物は世界を救う」

SAYONARA 国立競技場“FOR THE FUTURE”イベント

など

## ◆ラジオ CM 部門 審査委員長 澤本 嘉光 氏



エグゼクティブクリエイティブディレクター/CM プランナー

1990 年電通入社。ACC、TCC を始め、カンヌ、NY フェスティバル等数々受賞。クリエイター・オブ・ザ・イヤーは 3 度受賞。

主な仕事：

〔テレビ CM〕ソフトバンク「白戸家」、トヨタ自動車「企業 ドラえもん」シリーズなど

〔映画〕「ジャッジ！」原作、脚本、「犬と私の 10 の約束」原作、脚本

〔PV〕「魔弾～Der Freischutz～」T.M.Revolution

「アフターダーク」ASIAN KUNG-FU GENERATION

〔著書〕「おとうさんは同級生」（幻冬舎）など

〔ラジオ〕2014 年 4 月より、ラジオ番組「澤本・権八のすぐには終わりますから」

パーソナリティ TOKYO FM 毎週土曜 25:00～25:30 <http://www.tfm.co.jp/suguowa/>

## ◆マーケティング・エフェクティブネス部門 審査委員長 土橋 代幸 氏



トヨタマーケティングジャパン取締役

1984年トヨタ入社。財務部を経て90年に宣伝部へ異動。初代プリウスや企業広告を中心に手掛けた。2009年のトヨタマーケティングジャパン設立を経て、2013年取締役就任。現在に至る。

## ◆インタラクティブ部門 審査委員長 須田 和博 氏



株式会社 博報堂

シニア・クリエイティブディレクター

1967年新潟生まれ。1990年多摩美術大学卒、博報堂入社。AD、CMプランナーを経て、2005年インタラクティブ領域へ。2014年スタラボ発足。同ラボの第1号試作品「ライスコード」で、アジア太平洋広告祭にて、メディアロータス・グランデ、ロータス・ルーツ、はじめ合計7冠を得る。

## ■主な受賞歴

1985年ぴあフィルムフェスティバル入賞、1999年ACC賞、2000年TCC新人賞。2009年「ミクシイ年賀状」で、TIAAグランプリ受賞、カンヌ国際広告祭メディアライオン・ブロンズ受賞。

2013年「ロッテ・カフカ・泣きやみ動画」で、カンヌサイバーライオン・ブロンズ受賞。アジア太平洋広告祭2014で、モバイル・ロータス・ゴールド、サイバー・ロータス・シルバー受賞。

2014年「ライスコード」で、カンヌPRライオン・ゴールド、同アウトドア・ゴールド、アジア太平洋広告祭メディア・ロータス・グランデ、ロータス・ルーツ、APACエフィー・ゴールド、JACEイベントアワードなど、合計60冠以上を受賞。

## ■著書

「使ってもらえる 広告」アスキー新書

**【ACCとは】**

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(All Japan Radio&Television Commercial Confederation)は、CM関係事業者の共通認識の醸成と表現の質的向上を図りながら、視聴者の視点に立ったCMのあるべき姿を追求し、社会的・文化的貢献を目指して活動しております。

ACCは、よいCMの制作と放送の実現に寄与することを目的に設立された公益法人で、広告と放送に関する広告主・広告会社・制作会社・放送会社の4業種のメンバーで構成され、業種の枠を超えて視聴者の視点、グローバルな視野からCMの発展を推進しています。

**【ACC CM FESTIVALとは】**

1961年よりテレビ、ラジオCMを対象にした広告賞として、「ACC CM FESTIVAL」を開催しています。2010年には、マーケティング・エフェクティブネス部門、2014年からはインタラクティブ部門も創設されました。

名実ともに、日本最大級の広告賞として広く認知されており、総務大臣賞／ACCグランプリは広告関係者の大きな目標となっています。